

経営比較分析表（令和3年度決算）

宮城県栗原市 栗原市立栗駒病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床未満	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	5	-	ド訓	救
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
64,621	4,954	第2種該当	-	20:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

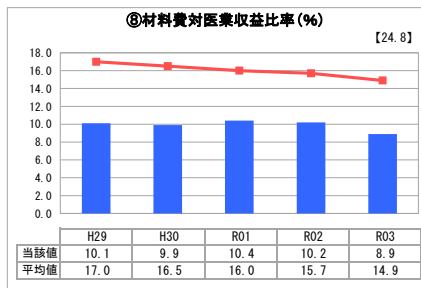
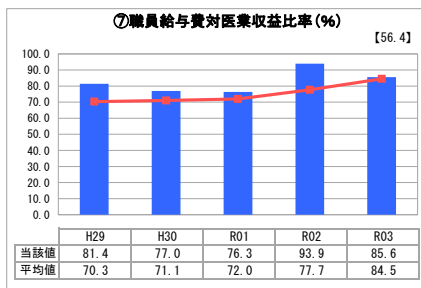
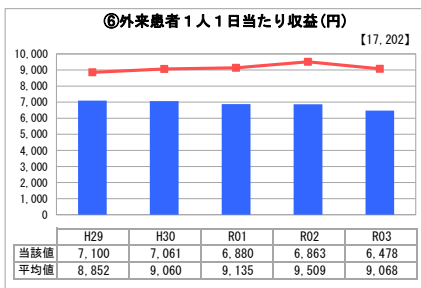
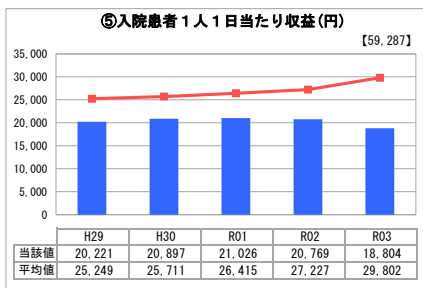
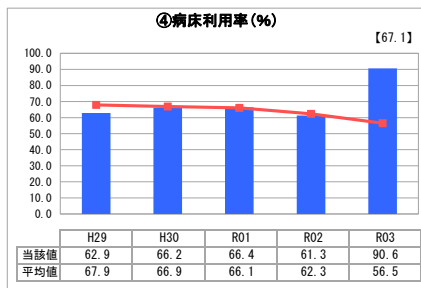
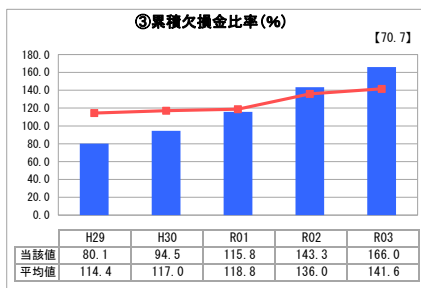
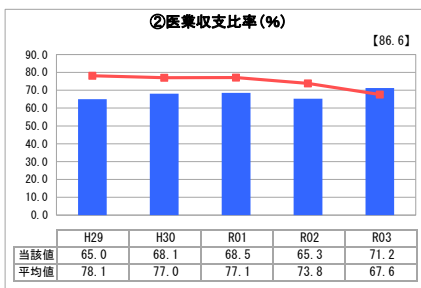
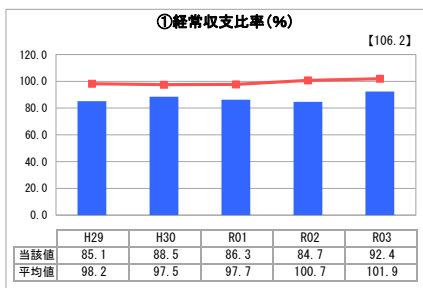
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
-	45	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	45
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)
-	45	45

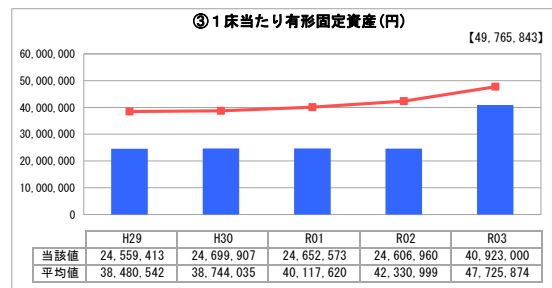
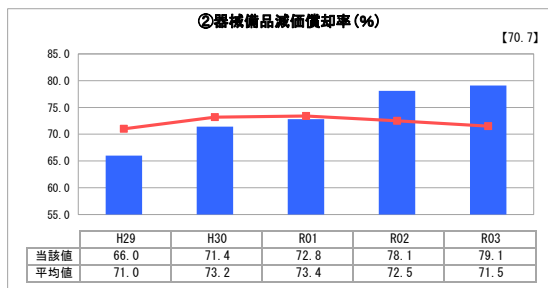
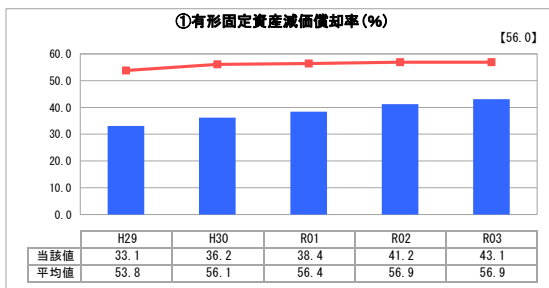
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

診療圏で唯一、入院施設の有る病院であり、診療圏内の診療所や介護施設において入院治療が必要と判断された患者について、受入れられる入院施設として住民の安心安全に貢献している。診療圏の高齢化・少子化に対応する療養施設としての役割が必要となる。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

病床再編(一般病床を廃止し、療養病床のみの45床に再編)により、病床利用率は90%以上となったものの、入院患者1人1日当たりの収益は減少しており、医業収益も減となっていることから、累積欠損金比率が増加傾向にある。経常収支比率、医業収支比率、職員給与対医業収益比率は、病床再編に伴う人員削減による人件費減の効果などで好転しているが、依然、医療スタッフの高齢化により給与費比率が高いことから市立病院間の人事交流が必要と考える。また、医師の高齢化により診療を抑制せざるを得ないため、若年層医師の確保が必要と思われる。

2. 老朽化の状況について

病院建設から10年以上経過しており、病院本体や設備、医療機器の老朽化等による故障などが見受けられることから、定期的な修繕や計画的な更新が必要となってきている。

全体総括

診療圏の人口の減少に伴い、患者数も減ってきていることから、地域の患者需要に応じた病床数の削減が必要と判断され、令和3年度に病床再編に取り組んでいる。これに伴い、医療スタッフ数も削減されているが、一方で、次代を担う医師をはじめとする医療スタッフの更なる確保が必要と考える。まずは医師の招聘が喫緊の課題となっている。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。